

社協だより

しろいし



～支えあう まちづくり～



毎回体操からスタート!!1・2・3!!



本日のレクリエーションは射的ゲーム。



～長い間ありがとうございました～

23年間の思い出は私たちの宝物♦♦♦

平成12年4月より白石市社会福祉協議会が白石市からの委託を受けた介護予防事業『生きがいデイサービス』は令和5年3月末を持ちまして幕を閉じました。

日々のレクリエーションに加え、春と秋のお出かけでは出先で買い物をするなど、楽しい時間を過ごすことができました。利用者のみなさんには、いつまでも元気で過ごしていただきたいと思います。

長い間ご利用いただいたこと、職員一同感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

今後は、白石市文化体育活動センター（ホワイトキューブ）に場所を移し活動します。



社会福祉協議会とは

地域のお子さんから高齢者の方まで、みなさんが生涯を通して安心して暮らせるよう、福祉活動の参加・利用の支援、日常生活などの相談受付、募金・ボランティア活動、介護保険事業などを行う法人です。

主な内容

- ◆令和5年度事業計画及び予算…2・3P
- ◆社協会費のお願い・令和4年度社協会費実績報告…4P
- ◆社協会費活用事業のご紹介…5P
- ◆まちしるべ…6P
- ◆福祉体験学習・レクリエーション用具貸出・公益財団法人日本公衆電話協会、二十歳を祝う会実行委員会からの寄贈寄付の受納など…7P
- ◆お知らせ・ボランティア保険など…8P

社会福祉法人白石市社会福祉協議会

「社協だよりしろいし」は、赤い羽根共同募金の配分金を財源に発行しています。



令和5年度事業計画及び予算

「誰もが住み慣れた地域で、安心していきいきと暮らし続けられる地域づくり」の実現に向け、福祉活動の参加・利用の支援、日常生活などの相談受付、募金・ボランティア活動、介護保険事業など各種地域福祉事業に取り組んでいきます。

重点目標

- ①ともに支え合う地域づくりの推進
- ②小地域福祉活動の推進
- ③在宅福祉サービスの推進
- ④組織体制の強化と自主財源の確保

事業内容

1 法人運営事業

- (1)法人運営事務事業
- (2)助成事業
- (3)地域生活支援事業
- (4)地域福祉活動計画事業

2 共同募金配分事業

- (1)共同募金配分事業

3 地域福祉推進事業

- (1)生活福祉資金事務事業
- (2)福祉サービス利用援助事業《まもりーぶ》
- (3)高齢者等地域ささえ愛互助活動支援事業
- (4)生活困窮者支援事業
- (5)子どもの学習等支援事業
- (6)生活支援体制整備事業

4 やまぶき園管理者運営事業

- (1)福祉作業所やまぶき園事業
- (2)福祉プラザやまぶき事業

5 介護保険事業

- (1)訪問介護事業
- (2)居宅介護支援事業

6 障害福祉事業

- (1)居宅介護事業

7 緊急援護事業

- (1)生活安定資金事業
- (2)生活安定資金欠損補填積立金事業
- (3)母子福祉対策資金事業
- (4)応急小口資金貸付事業



▲居宅介護支援事業
ケアマネジャーのサポートで安心



▲共同募金配分事業
地域の楽しい居場所（サロン）



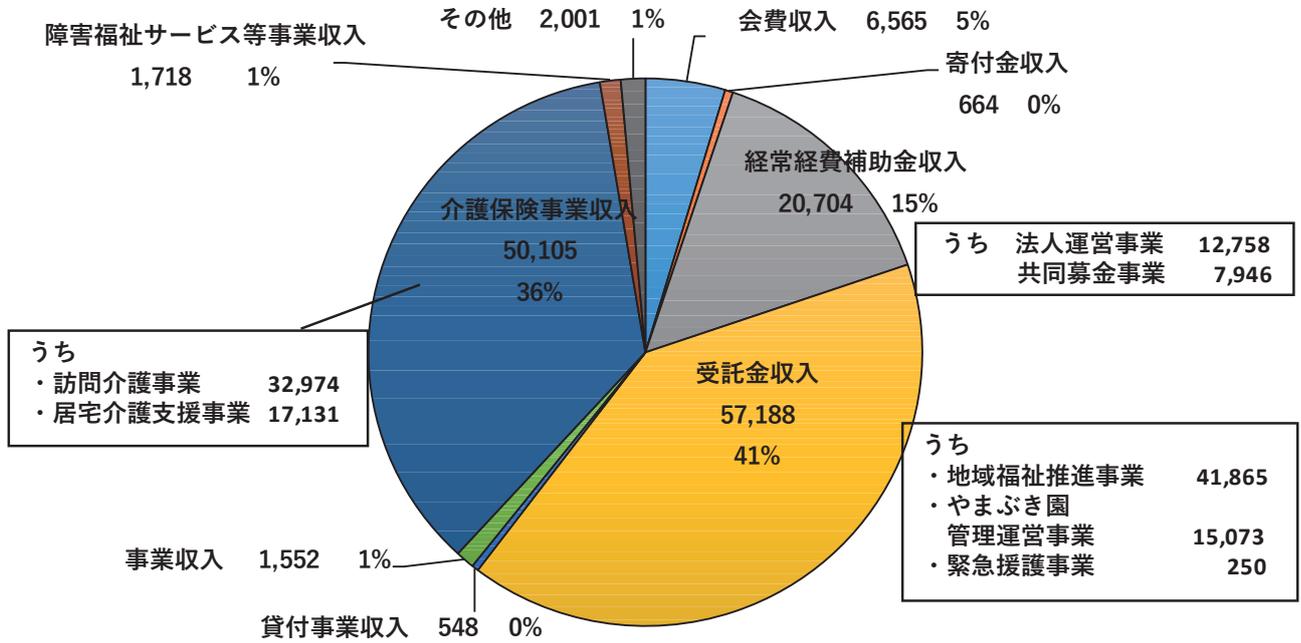
▲生活困窮者支援事業の生活
相談の様子

令和5年度予算額

収入総合計額

1億4,104万5千円

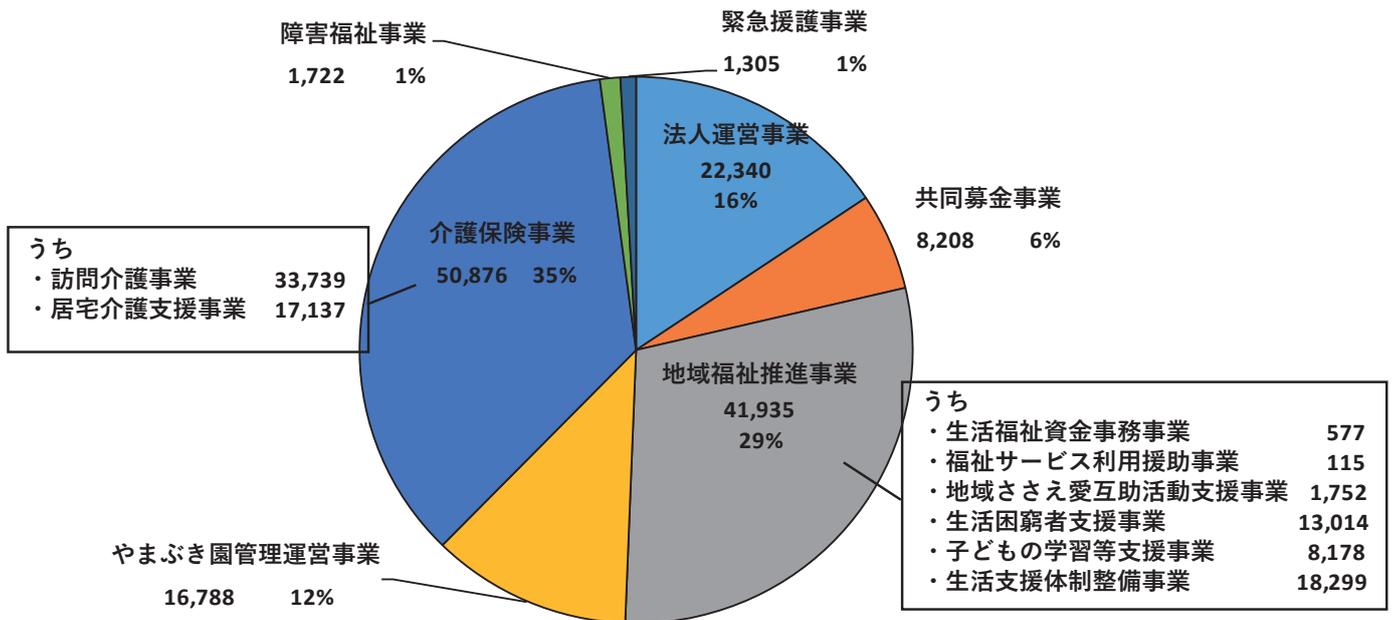
(単位：千円)



支出総合計額

1億4,317万4千円

(単位：千円)



収支差額の不足は、繰越金により運営しています。



社協会費のお願い

～ 住民一人ひとりの『力』が大きな力になる～
みなさんの会費が地域の福祉活動を支えています

少子高齢化が加速している今日において、ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯が増えており、介護予防、認知症予防が重要になっています。

また、家族形態の多様化などから子育て環境が変化するほか、生活困窮者世帯や引きこもりなど多くの地域課題が生じています。

白石市社協において、「誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちづくり」を目指して取り組んでいます。次のページに記載しております事業など様々な地域福祉活動は、みなさんからの貴重な社協会費によって支えられています。

今年度も、白石市民のみなさんをはじめ、法人、団体など多くの方に会員になっていただき、地域の支え合い活動をますます発展・活性化していくため、会費納入にご協力くださいますようお願いいたします。

会費の種類と金額

会費の種類		金額
一般会員	白石市民の方	年額 600円
特別会員	社協事業にご賛同いただける個人の方	年額 1,000円以上
特別賛助会員 (法人・団体)	市内の社会福祉施設、法人・団体	年額 2,000円以上

社協活動にご理解・ご賛同いただき、会費納入にご協力ください。



令和4年度社協会費実績報告

みなさんからのたくさんのご協力ありがとうございました

昨年度は、みなさんからのあたたかいご支援と白石市自治会連合会各支部のご協力により、**6,366,000円**の会費が寄せられました。誠にありがとうございました。

支部	会員数	会費実績額	支部	会員数	会費実績額
白石	5,528	3,324,400	大鷹沢	568	345,200
越河	449	273,800	白川	480	309,800
斎川	311	199,000	福岡	2,092	1,261,600
大平	797	490,000	小原	261	162,200

合計

会員数 10,486

会費額 6,366,000 円

(令和5年3月1日現在)

社協会費活用事業のご紹介

社協会費は、福祉活動推進のための大切な財源として、児童福祉、高齢者福祉、障害者福祉、ボランティア・福祉教育の推進、各地域における福祉団体等への助成に活用させていただいています。

ブックスタート事業

～絵本を開く楽しさをお届けします～

ブックスタートとは、健診などの機会に、絵本をひらく楽しい「体験」と「絵本」をセットでプレゼントする活動です。

抱っこのぬくもりの中で絵本を読んでもらう心地よさや嬉しさを赤ちゃんに届けます。

本会では、子育て支援事業として「ブックスタート事業」を実施しており、市の6か月児育児相談で絵本を贈呈しています。



小学校入学応援事業

～ご入学おめでとうございます～

小学校入学を祝福するとともに、小学校生活で必要と思われる物品を贈呈し、お子さんの生活・学習を応援します。



車イス用自動車貸出事業

外出が困難な高齢または障がいがある方などに、車イスのまま乗降が可能な「車イス用自動車」の貸出しを行い、外出を支援します。



地域福祉活動計画

～住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる地域を目指して～

地域の生活課題に寄り添った具体的な取組みを計画化し、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちづくりを推進します。



▲斎川地区生活課題インタビューの様子



生活困窮者支援事業

生活相談や見守り活動を通じて、病気や低収入などにより生活に困っている世帯へ、最低限必要な生活用品を支援します。





地域の中には、住民主体のサロンや地域活動を通して交流や親睦を図る活動がたくさんありますのでご紹介します。

白石市ボランティア連絡協議会交流会

～3年ぶりの開催と久々の再会に笑顔溢れる～

令和5年3月7日（火）『白石市ボランティア連絡協議会交流会～カラダを動かしながらコミュニケーションを図る～』が開催され、40名が参加しました。

コロナ禍の影響でイベントの中止が続き、会員が一堂に会するのは3年ぶりとなりました。健康運動指導士の齋藤幸子先生さいとうさちこによるレクリエーションを楽しみました。

※白石市ボランティア連絡協議会とは、市内のボランティア団体が情報交換や親睦を図るとともに、ボランティアの輪を広げ、地域の助け合いの力（福祉力）を高めていくことを目的に活動しています。



小原地区 第三回“脳トレ大学”

～地域のみなさんに長く親しまれている恒例イベント～

「脳トレ大学」は、平成20年から小原地区住民を対象に、認知症の予防のため楽しみながら脳を使うこと、体を動かして脳を活性化することを目的に年3回開催しています。

今回は地域のみなさん46名が参加し、白石市包括支援センターほしなかよこによる出前講座と日本レクリエーション協会指導員の保科香代子先生による体操やお手玉を使った脳トレゲームなどで楽しく盛り上がりました。久しぶりに顔を合せた方もいて、参加者同士のおしゃべりも楽しみの一つです。

じゃんけんぽん!



越河第三長生会女性部の集い

～お口の健康（健口）づくり～

令和5年2月24日（金）越河第三長生会の集いが開催され、地域のみなさん26人が参加しました。

「お口の中・歯の健康は大丈夫？」と題し、白石市包括支援センター歯科衛生士の小関千晴さんから口腔ケアについて講話いただきました。

歯やお口の“健康（健口）”は全身の“健康”に影響します。歯の磨き方や入れ歯のお手入れなどの口腔ケアの大切さを教えていただいた後は、唾液の分泌を促すマッサージやパタカラ体操を実践しました。

自分のお口から美味しく食事をするためには、毎日のケアが大切です。

パタ・カラ



こせきちはる
◀ 歯科衛生士の小関千晴さん

福祉体験学習

令和5年1月19日（木）、越河小学校で「コルジャ仙台ブラインドサッカークラブ」の方をお招きして「ブラインドサッカー体験」が行われました。

実際の競技で使うボールを使った体験のほかに、アイマスクをした状態で様々なことにチャレンジ。視覚以外の情報を元に、自分で考えて行動すること・まわりとコミュニケーションを取ることの大切さを学びました。



▲繋いだ手と声を頼りにジャンプ！



当社協では、市民の皆様から寄せられた「赤い羽根共同募金」の一部を使用し、市内の小学校・中学校で開催される福祉体験学習の助成を行っています。

レクリエーション用具の貸し出し

「輪投げ」「ソフトダーツ」「カーレット」など、レクリエーションにぴったりな人気グッズを無料で貸し出ししています。詳しくはホームページをご覧ください。お問い合わせください。

●●●「囲碁ボール」を新しく追加しました●●●

「囲碁ボール」は、スティックを使い、人工芝マットの上で49個の目（穴）に白黒のボールを打っていく、五目並べのようなゲームです。



公益財団法人日本公衆電話協会様より

「災害時連絡方法のてびき」等を寄贈いただきました。

公益財団法人日本公衆電話宮城支部様より「災害時連絡方法のてびき」と「災害用伝言ダイヤル171PR用のポケットティッシュ」をいただきました。

冊子には、災害時に離れた家族等との連絡・安否確認に役立つ「災害用伝言ダイヤル171」と大規模災害後の公衆電話の利用方法が掲載されています。

これらは、自治会長と民生委員・児童委員のみなさんに配布し活用させていただきました。ありがとうございました。



▲寄贈の冊子等を手にする宮城支部の片倉茂樹さん(左)と船形信浩さん(中央)



▲寄付金の贈呈
二十歳を祝う会実行委員長
佐藤茉莉衣さん(左)

二十歳を迎えたみなさんより寄付をいただきました。

令和5年2月3日（金）、『令和4年度二十歳を祝う会』で集まった募金の贈呈式を行いました。

集まった4,537円は、「地域福祉のために役立ててほしい」と社会福祉協議会に寄付されました。

二十歳を祝う会実行委員長の佐藤茉莉衣さんは、「二十歳を迎え大人としての自覚を深め気持ちを新たに、夢や目標に向けて頑張りたいです。」と語ってくれました。



お知らせ

～返しきれない借金で悩んでいませんか～

東北財務局では、借金を抱えてお悩みの個人（自営業の方含む）の方々からの相談を受け付けています。一人で悩まずに、お気軽にご相談ください。（無料相談、秘密厳守）

●受付時間：月～金曜日（祝日、年末年始を除く）9：00～12：00、13：00～17：00

●連絡先：東北財務局 多重債務者相談窓口

仙台市青葉区本町3-3-1 仙台合同庁舎B棟5階

022-266-5703（直通）



ボランティア保険受付

～令和5年4月1日からボランティア保険・ボランティア行事保険の受付が始まりました～

自発的な意思により他人や社会に貢献する無償のボランティア活動で、団体の会則に則り企画・立案された活動であるか、社会福祉協議会に届け出た活動などの要件を満たす場合に加入できる保険です。

補償内容	傷害	ボランティア活動中の事故によるボランティア本人のケガ
	賠償責任	ボランティア活動中に他人にケガをさせてしまった場合や他人の物に損害を与えてしまった場合など
保険料	300～800円（補償額に応じた5種類のプランがあります。）	



※ボランティア行事保険も随時受け付けます。



あたたかい善意ありがとうございました

福祉に活用してほしいと、みなさんから温かい善意が寄せられました。



♡ご寄付の御礼

- 匿名希望 様 玄米60kg
- 令和4年度二十歳を祝う会実行委員会 様 4,537円
- 公益財団日本公衆電話会宮城支部
災害時連絡方法のてびき
～大規模災害時の安否確認～ 400部
災害伝言ダイヤル171PRツール 400個

食品「お米等」のご寄付をお願いします。
(いただいたお米等はフードバンク事業に活用しています。)



♡自動販売機売り上げの一部が寄付され、地域福祉に充てられます。

- トーカドエナジー(株)白石工場 様 7,100円
- 東北電力ネットワーク(株)
白石電力センター 様 3,638円
(令和4年12月1日～令和5年2月28日)



社会福祉
法人

白石市社会福祉協議会

〒989-0231宮城県白石市福岡蔵本字茶園62-1
(白石市総合福祉センター内)

TEL：0224-22-5210 FAX：0224-22-1571

生活総合相談：0224-22-2130

OE-mail：info@shiroishi-shakyo.jp

○白石市社協ホームページ <http://shiroishi-shakyo.jp/>

公式Facebookもぜひご覧ください。



しろいし社協

しろいし社協 検索

